

東海支部

6月15日奥浜名湖・猪鼻湖沿いの「キラリゾート&スパ浜名湖」にて青山学院大学コミュニティ人間科学部教授菅野幸恵先生、同准教授後藤千織先生、安西彰子同窓会会長をお迎えし総勢32名の参加で東海支部総会が開催されました。朝方まで強い雨が残りましたが集合場所の鷺津駅では天気は回復して会場までの送迎バス車中では早くも会話が弾み浜名湖の景色を楽しんでいたようです。

菅野先生に「ケアの観点から見る短大・同窓会」と題してのご講演をいただきました。

ケアとは人に関心を持つ。人に心を配る。人を慈しむ。人の存在を認める。という意味があり、それは相手にありのままの自分を認めてもらうことにつながり共生していけることになる。沢山のケア体験が自己肯定感となっていく。という心に残る温かいお話でした。

安西会長からは今後数年間の内に短大キャンパスが新しい形に変わっていくとお話がありました。大先輩の方々より母



校を訪ねる企画をぜひして欲しいという強いリクエストも出ました。同窓会会報や同窓会ホームページなどで短大の今後に関心を持っていきたく思います。岩田みつ子東海支部長から東海支部会則の改正及びその経緯の説明があり出席者全員の賛成を得て会則の改正が承認されました。東海支部は1979年(昭和54年)6月10日発足です。長い歩みです。

総会終了後は地元で活躍の二胡奏者のナンシーさんにギター伴奏で演奏をお願いしました。二胡の生演奏は初めてという同窓生もいて、皆さん二胡の哀愁漂う音色に聴き入っていました。プログラムはジブリはじめ馴染み深い曲ばかりでした。特にアンコール曲の中に島みゆきの「ヘッドライト・テールライト」は心に染み余韻にひたりました。

演奏会後は浜松産舞茸や地元のブランド牛「みつかび牛」

を使ったフルコースのフランス料理をいただきましたながら歓談の時間となりました。とても美味しい料理だったと皆さんに喜んでいただきました。あつという間の楽しい会食となりました。

来年は名古屋での開催となります。再び皆さんにお会いできますのを楽しみに笑顔での散会となりました。

52 E 伊藤 幸枝(金原)



関西支部

5月25日、第45回関西支部総会が「ホテル阪急レスパイア大阪」にて開催されました。

当日は青山学院大学コミュニティ人間科学部教授河見誠先生、青山学院大学特任教授趙慶姫先生、校友会からは木下英司関西支部長、渡里尚人京都支部長、堤顕奈良支部長、また後藤道子同窓会副会長をお迎えし、総勢20名のアットホームで心温まる集いとなりました。

支部役員長瀬智子(48E)さんによる礼拝に始まり、来賓の皆さまのご挨拶をいただきその後の議事も滞りなく終了いたしました。短大最後の学長、副学長でいらした河見、趙両先生からは、学院・大学の施設となった短大キャンパスの現在の様子や、変わりゆく将来への展望についてのお話がありました。その中で、短大施設の一部を残し今後活用していきたいという先生方のお気持ちに響きました。

会食は、高層階でありながら美しい庭木の緑に囲まれた会場で、美味しいイタリア料理をいただきました。各テーブルでは、青短の懐かしい思い出

話に花が咲き、素敵なお話でした。続いて、河見先生に「『しなやかに夢を生きる』—生き方を受け継ぐわたしたち—」という演題でご講演いただきました。青山学院創設者の一人であるドーラ・E・スクーンメーカー女史の、神と人に仕えたその人生について学ぶ貴重な時間となりました。23歳でアメリカのイリノイ州から宣教師として来日し麻布に女子小学校を創設、滞日5年の間に大変な努力の末、日本にキリスト教教育を根付かせ、やがてそこから青山学院の歴史が築き上げられたというお話をうかがいました。



今回の総会には、名古屋からの参加もあり、また校友会から3名の支部長にお越しいただいて、大変華やいだ雰囲気となりました。

今年の関西支部秋の親睦会は、10月10日(金)、国立文楽劇場(大阪)において「爽秋文楽特別公演『心中天網島』」(レクチャー付き)を鑑賞いたします。全国の皆さまのご参加を心よりお待ちしております(参加ご希望の方は、恐れ入りますが10月5日(日)までに関西支部アドレス(aotankansai@gmail.com)にお問い合わせください)。

54 J 柳江 周子(笹原)